

東北地方の復興状況

～ 東日本大震災から11年 ～



令和4年3月29日
東北地方整備局

震災復興
進もう！次の東北へ

東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況

復旧・復興事業計画		2011年3月11日 時点	2022年3月末 見込み	完成予定
東北地方整備局	復興道路・復興支援道路 計画延長 <u>550</u> km※ <small>※国土交通省が中心となって整備している路線</small>	供用中 <u>160</u> km (29%)	開通済 ※ (100%) <small>※2021年12月18日</small>	—
	河川堤防 復旧・復興延長 <u>48</u> km※ <small>※直轄河川堤防の要整備延長 〔阿武隈川、名取川、鳴瀬川、 旧北上川、北上川 の5河口〕</small>	完成延長 <u>0</u> km (0%)	全て完成 (100%)	—
	港湾防波堤 復旧延長 <u>8,920</u> m※ <small>※大規模被災防波堤 (八戸港、釜石港、大船渡港、相馬港)</small>	復旧延長 <u>0</u> m (0%)	全て復旧 ※ (100%) <small>※2018年3月末</small>	—
	国営追悼・祈念施設 <u>3</u> 箇所 ① 岩手県陸前高田市 ② 宮城県石巻市 ③ 福島県浪江町	—	① オープン ② オープン ③ 一部利用開始	2025年度内 ③ 完成
自治体 まちづくり ① 災害公営住宅 <u>29,806</u> 戸 ② 民間住宅等用地 <u>18,227</u> 戸 <small>※防災集団移転促進事業及び土地区画整理事業 等により供給する宅地 ■出典：復興庁「住まいの復興工程表」 (令和3年3月末現在) ただし、①の災害公営住宅の帰還者向けについては、福島県「災害公営住宅(帰還者向け)の進捗状況」(令和3年12月31日時点)を反映。</small>	① <u>0</u> 戸 (0%) ② <u>0</u> 戸 (0%)	① <u>29,653</u> 戸※ (99.5%) <small>※福島県内の帰還者向けの一部及び 調整中の長期避難者向けを除き完成</small> ② 全て完成 (100%)	2023年度内 ① 完成 ※ <small>※調整中の長期避難者向けを除き完成</small>	

復旧・復興事業による効果 ～ 道路 ～

- 震災時点で開通している復興道路・復興支援道路の延長は約173kmで総延長550kmのわずか31%であった。
 - 震災前は、仙台から八戸間の移動は8時間35分を要していたが、開通により約3時間短縮になり5時間13分。
- 各主要都市間の所要時間が大幅に短縮。

■全線開通後

凡例	
	開通済区間
	現道活用区間
	その他高規格幹線道路

・都市間所要時間は各市役所で算出
 ・既供用区間の速度は、H27全国道路・街路交通情勢調査(非混雑時、上下平均)を採用
 ・未供用区間は、道路構造にに応じた速度を適用



- 復興道路・復興支援道路の所要時間の変化
- 三陸沿岸道路(仙台～八戸間)
約3時間短縮(約8時間35分⇒約5時間13分)
 - 東北横断自動車道(釜石～花巻)
約30分短縮(約1時間53分⇒約1時間21分)
 - 東北中央自動車道(相馬～福島)
約25分短縮(約1時間15分⇒約52分)

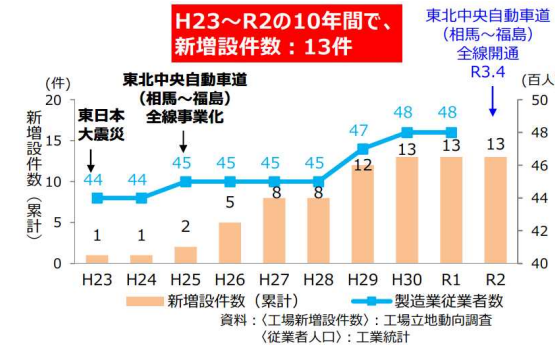
※都市間所要時間は各市役所で算出

- 青森・岩手・宮城では、復興道路・復興支援道路沿線に新たに工場が245件立地。
- 復興支援道路の相馬港エリアでは、東日本大震災以降に発電所やLNG基地など大規模施設が13件新增設。

■工場立地の推移(累積)
(復興道路・復興支援道路沿線市町村)



■相馬市・新地町における工場新增設件数(累計)と製造業従業者数の推移



出典：工場立地動向調査

- 復興道路・復興支援道路沿線における21箇所の道の駅について、道路上からの案内を充実し休憩サービス等を提供。
- 岩手県久慈市の新たな広域道の駅の開業予定や「大谷海岸」「高田松原」などがリニューアルオープンし、賑わいを創出。

道の駅「高田松原」(岩手県陸前高田市)
※R1.9.22リニューアルオープン

道の駅「大谷海岸」(宮城県気仙沼市)
※R3.3.28リニューアルオープン



出典：道の駅「高田松原」、R3.7.22撮影(屋外休憩施設完成イベント時)

復旧・復興事業による効果 ～ 港 湾 ～

- 直轄港湾災害復旧事業は、平成30年3月末の釜石港湾口防波堤の完成により、全106施設の復旧が完了。
- 東日本大震災からの早期復興・再生を図るため、被災地域の経済を支える物流拠点の形成等に必要な港湾施設の整備を実施。釜石港ではコンテナ取扱量が震災直後より約40倍、港湾利用企業数は約15倍増加。

- 港湾や復興道路等の社会資本インフラの集中整備により、港湾周辺や利便性が向上した地域では、新規企業の立地や工場の増設が活発化。相馬港背後地では、増設含めて新たに発電所やLNG基地等が13件立地。
- 東北管内太平洋側港湾を利用する企業では、新たに約8,000億円の企業投資と、約7,500人の新規雇用が創出。

※港湾利用企業へのヒアリングにより東北地方整備局作成（令和元年12月末時点）

○ 港湾整備と道路整備の連携により釜石港を利用する企業やコンテナ取扱量が増加



釜石港コンテナ取扱量と釜石港利用企業数



- 相馬港では、国・県・民間事業者が連携して港湾整備を行い、LNG基地、天然ガス・バイオマス発電所が立地し、複合型のエネルギー拠点を形成
- 更に、道路整備による物流機能強化により、鉄鋼加工メーカーやコメの低温倉庫が立地



復旧・復興事業による効果 ～ 国営追悼・祈念施設 ～

- 「3. 11 伝承ロード」のゲートウェイである復興祈念公園 国営追悼・祈念施設を核として、各地の震災伝承施設と広域ネットワークを形成し、防災力向上と地域活性化につなげる。
- 令和2年度末に完成した岩手県陸前高田市、宮城県石巻市の国営追悼・祈念施設においては、地方公共団体や市民活動団体等と連携しながら運営管理を実施。福島県双葉郡浪江町の国営追悼・祈念施設は、引き続き整備を実施。
- 岩手県においては、令和元年9月22日の一部オープンから現在まで約127万人が来場。宮城県においては、令和3年6月6日の開館から現在まで約4万人が来場。

▼福島県復興祈念公園(浪江町・双葉町)



▲石巻南浜津波復興祈念公園(石巻市)



▲高田松原津波復興祈念公園(陸前高田市)



▲買い物客でにぎわう道の駅「高田松原」 4

復旧・復興事業による効果 ～ 河川 ～

- 名取川閑上地区は、河川堤防と同じ高さに整備した側帯上に、被災事業者が中心となったまちづくり会社が商業施設を建設・運営し、WEBやSNS等で情報発信しながら地域の賑わい拠点として復興を牽引。
- 河川・まち・運河・港が連携し復興事業の中でインフラ整備を上手く組み合わせ、地域の拠点として育てる発想が災害復興・継承の観点から高く評価され、令和3年度のかわまち大賞を受賞。

名取川（閑上地区）

令和3年度 かわまち大賞

かわまち大賞

KAWAMACHI AWARD



堤防と一体となった「かわまちてらす閑上」

令和元年5月撮影



語り部による防災学習の様子
(水防センター：震災復興伝承館)



社会実験中の舟運事業の様子

来客数の推移(人)



「かわまちてらす閑上」の来客者数の推移

復旧・復興事業による効果 ～ 復興まちづくり ～

○住宅の供給やコミュニティの維持・形成のみならず、市街地の安全性向上や新たな拠点の創出、及びコンパクトなエリアへのまちの機能の集約などを早期に実現。

○今後も復興庁と連携し、福島の復興及び再生支援や被災自治体による災害公営住宅の管理支援、宅地の有効活用に向けた自治体への技術的助言等を積極的に実施。

■住宅団地の供給

志津川東地区(宮城県南三陸町) 津波拠点 防集(団地) 災害公営



UR都市機構より提供

▶ 宅地供給及び災害公営住宅整備による安定した住まいの供給を実現

■市街地の安全性向上

田老地区(岩手県宮古市) 区画整理 防集(団地) 災害公営



宮古市より提供

▶ 防集等により浸水被害のない高台等への移転による安全性の向上

■コンパクトなまちの実現

町方地区(岩手県大槌町) 区画整理 防集(団地) 災害公営 津波拠点



大槌町より提供

▶ 嵩上げ範囲を絞り、臨海部は災害危険区域を指定。土地利用を規制しまちの機能を集約

■コミュニティの維持・形成

馬場野地区(福島県相馬市) 災害公営 防集(団地)



相馬市より提供

▶ コモンスペースを確保するなど、入居者が集まりやすい環境をつくり、高齢入居者の孤立を防止

■新たな拠点の創出

高田南地区(岩手県陸前高田市) 津波拠点



陸前高田市より提供

▶ 地元企業等との連携により早期に地域核となる商業施設や公益施設等を形成し、地元住民のほか、観光客が集まる新たなにぎわいを創出

中心部地区(宮城県女川町) 区画整理 津波拠点



宮城県より提供

東北の創造的な復興に向けて

第12回復興加速化会議での主なポイント

令和4年1月16日開催 齊藤国土交通大臣出席

- 復興事業を着実に完了させるため、令和4年度においても復興関連工事の間接工事費における「復興係数」を継続。
- 自治体等との連携により、「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」の取り組みを、DXの推進とともに進化させていく。
- 産学官民の連携による「3.11伝承ロード」のより一層の推進。



東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」

- 少子高齢化が進む東北地方で、災害時の迅速な対応そしてインフラの維持管理や除排雪など、「地域の守り手」である建設業の担い手確保対策を、東北全体へと拡げることが必要
- 東北地整、県・仙台市、建設業団体が連携して取り組む「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」を、東北管内の全市町村(226市町村)に対し、DXの推進を図りながら東北全体を進化

「強い東北」の実現に向け、DX推進とともに、取組を進化

働き方改革の推進

- ①「週休2日工事」の普及・拡大
[証明書の取組を10万人以上の都市へ拡大]
- ②「統一土曜一斉現場閉所」の取組
みを各県単位で「月2」を目指す
- ③業務及び工事における「ウィーク
リースタンス」を全市町村で標準化
- ④「施工時期の平準化」を全発注
者にて目標設定(標準化)し推進
- ⑤業務における「WEB会議」を6県・
仙台市にも拡大 [WEB検査の標準化
(国)]

生産性向上の推進

- ⑥「ICT活用工事」の普及・拡大
[証明書の取組を10万人以上の都市へ拡大]
※証明書対象工種を拡大 (ICT法面工等)
- ⑦「簡易チャレンジ型ICT」の推進
- ⑧ ICT・BIM/CIM・遠隔臨場の活用を
「ICTサポーター制度」により支援(創設)
- ⑨調査業務及び工事における「ウェ
アラブルカメラ等を活用した遠隔臨
場」を6県・仙台市に拡大
- ⑩「i-Conモデル事業」及び「BIM/CIM」
活用による調査～管理までの3次
元データ化を加速 (国)

担い手の育成・確保 (地域の守り手確保)

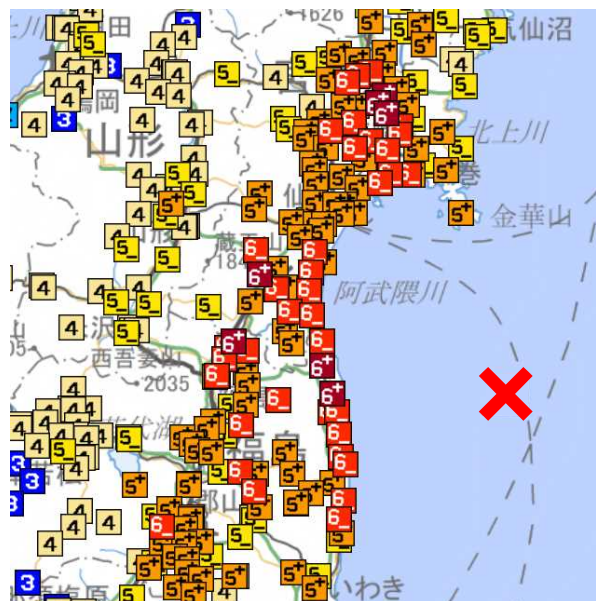
- ⑪東北土木技術人材育成協議会
・全ての10万人以上の都市のICT・
UAV等最新技術講習会受講完了
・産学官連携による「学生向け
i-Con新技術体験学習会」の開催
- ⑫デジタル技術(VR・MR等)の活用
に対応した研修・セミナーの高度化
- ⑬優良工事表彰で「地域の守り手枠
(維持工事)」を表彰(国)

令和4年3月16日 福島県沖を震源とする地震について

- 令和4年3月16日(水)23:36頃、福島県沖を震源とするマグニチュード7.4(最大震度6強)の地震が発生。
 - 東北地方整備局災害対策本部は、令和4年3月16日(水)23:36に災害対策本部(非常体制)を設置し、所管施設の点検・応急対応、自治体支援などを実施。
- ※令和4年3月28日(月)11:00現在の情報であり、数値等が今後変わることがあります。

1. 地震の概要

- 1) 発生日時
令和4年3月16日(水)23時36分頃
- 2) 震源地
福島県沖 深さ57km
地震の規模 M7.4
- 3) 各地の震度(震度6弱以上)



- 【震度6強】
宮城県 登米市 蔵王町
福島県 相馬市 南相馬市 国見町
- 【震度6弱】
宮城県 石巻市 名取市 角田市
岩沼市 栗原市 東松島市
大崎市 大河原町 川崎町
亘理町 山元町 涌谷町
福島県 福島市 二本松市 田村市
伊達市 桑折町 天栄村
檜葉町 富岡町 大熊町
双葉町 浪江町 新地町
飯館村

- 4) 津波 津波注意報(宮城・福島県) 3/16 23:39発表 → 3/17 5:00解除
石巻港で最大0.3mの津波を観測(3/17 2:14)

2. 体制発令(令和4年3月28日11:00現在)

- 非常体制 本部及び2務所(最大13支部)小名浜港湾 仙台技調
警戒体制 体制設置事務所なし(最大14支部)
注意体制 5事務所(最大12支部)仙台河国 北上下流 福島河国 郡山国道 塩釜港空

3. ホットライン

- 【県・政令市】青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 仙台市
【宮城県】震度6強の登米市 蔵王町をはじめ13市20町1村
【福島県】震度6強の相馬市 南相馬市 蔵王町をはじめ11市21町9村
【青森県】2町 【岩手県】8市4町2村 【秋田県】2市 【山形県】4市7町
⇒東北6県+仙台市+104市町村(38市54町12村)とホットラインを構築

4. リエゾン派遣状況

- 【県・政令市】宮城県 福島県 仙台市
【宮城県内市町村】登米市 石巻市 東松島市 大崎市 蔵王町
【福島県内市町村】相馬市 南相馬市 国見町
- 3/28時点で計11自治体に対してのべ89人を派遣

5. TEC-FORCE

- ・3/17 防災ヘリコプター2機※による被災状況調査班(ヘリ)2班を派遣
※北海道開発局:ほっかい号、関東地方整備局:あおぞら号
 - ・3/17 福島県国見町へ被災状況調査班(道路)1班を派遣
 - ・3/18~20 福島県相馬市へ被災状況調査班(道路)1班を派遣
 - ・3/18 福島県相馬市へ被災状況調査班(公共建築物)1班を派遣
 - ・3/21 相馬港へ被災状況調査班(港湾)1班を派遣
 - ・3/21~25 相馬市へ応急対策班(給水支援)1班を派遣
 - ・3/22~25 福島県相馬市へ被災状況調査班(道路)1班を派遣
 - ・3/25・28 宮城県角田市へ被災状況調査班(道路)1班を派遣
- ⇒3/28時点で計9班、のべ65人を派遣
- ・【福島県国見町】道路:1班
 - ・【福島県相馬市】道路:2班+公共建築物:1班+港湾:1班+給水支援:1班
 - ・【宮城県角田市】道路:1班

6. 災害対策用機械

- ・3/17 照明車4台派遣(国道6号(新地町):2台、東北中央道相馬IC(相馬市):2台)
- ・3/18~20 散水車2台派遣(断水した大崎市への給水支援)
- ・3/21~25 港湾業務艇による相馬市への給水支援
- ・3/21~22 港湾業務艇1艇による相馬港港内のナローマルチ深淺測量を実施

7. 建設業者団体との連携

- ・3/17~18 南相馬市からの要請を受けて、東北建設業協会連合会を通じてブルーシート5,000枚、トラロープ2,000m、土のう袋16,000枚を手配
- ・3/20 国見町からの要請を受けて、東北建設業協会連合会を通じてブルーシート2,000枚、土のう袋5,000枚を手配
- ・3/21 埋没の協力を得て、ブルーシート280枚、土のう袋6,000枚を相馬市に納入

8. 関係機関からのリエゾン

- ・国土地理院東北地方測量部、陸上自衛隊、UR都市機構、全国土木コンクリートブロック協会より、東北地整災害対策室にリエゾンを派遣いただき情報共有

9. 管内施設点検状況等(直轄の情報を中心に掲載)

1) 河川関係

《直轄河川》点検対象水系:6水系50河川

- ◇3/17 4:17 一次点検終了(津波遡上区間以外)
- ◇3/17 9:09 一次点検終了
- ◇3/17 11:22 二次点検終了

【被害状況】計14箇所にて軽微な損傷を確認

- ・堤防天端横断亀裂(約2~5m):8箇所
- ・堤防天端縦断亀裂(約20~130m):2箇所
- ・低水護岸損傷:3箇所
- ・管理用通路損傷:1箇所

3/18からの降雨に備え応急
対応を実施(3/18 14:00完了)

《直轄砂防》

- ・阿武隈川水系内川(宮城南部復興事務所管内):11施設 異常なし
- ・阿武隈川水系(福島河川国道事務所管内):17施設 異常なし

《直轄管理ダム》対象管理ダム:16ダム

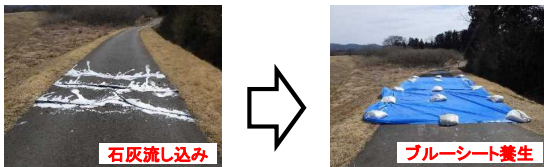
- ◇3/17 3:20 一次点検終了
- ◇3/17 11:20 二次点検終了

【被害状況】

- ・三春ダム:緊急停止した管理用発電設備 → 復旧済み
- ・摺上川ダム:取水塔建屋の筋交いの軽微な変形
- ・釜房ダム・セヶ宿ダム:停電により予備発電機稼働 → 電力復旧済み

《直轄海岸》

- ・3/17 8:12 岩沼市蒲崎海岸:巡視点検終了、異常なし
- ・3/17 9:50 山元町山元海岸:巡視点検終了、海岸堤防法面被覆ブロック[陸側]の開き(延長約30m 開き幅約10cm) → 3/18 10:00応急復旧完了



▲阿武隈川下流右岸34.4km 横断亀裂(角田市)

▲E13東中道上り41.88kp 道路損傷(伊達市)

2) 道路関係 ※3/28 11:00現在、地震による直轄管理道路の通行止め箇所なし

《点検道路パトロール》点検対象事務所:12事務所

- [非常] 南三陸、仙台、福島、郡山、磐城→3/17 5:45往復パト終了
- [警戒] 青森、岩手、三陸、湯沢、山形、酒田→3/17 3:50往復パト終了
- [注意] 秋田→3/17 2:52往復パト終了

津波浸水
区域以外

《直轄国道被害》

- ・仙台R108 隆起、明治水門橋伸縮装置段差、アンダーパス湧水...応急復旧完了
- ・磐城R6 相馬東大橋A1付近路肩舗装クラック...応急復旧完了
路面段差(303.8kp)...3/17 6:30通行止→3/17 18:00片交→3/25 18:40解除
- ・山形R112 新堀川橋伸縮装置付近段差...応急復旧完了

《直轄高速被害》

- ・E13東中道(相馬IC~桑折JCT)沈下、段差、クラック、アスカープ損傷、壁高欄損傷等...応急復旧完了

3) 港湾・空港関係

《対象施設》点検対象港湾:10港湾

- ◇3/17 8:06 一次点検終了
- ◇3/17 10:42 二次点検終了

【被害状況】

- ・八戸港、久慈港、宮古港、釜石港、大船渡港、秋田港、酒田港、小名浜港は点検の結果、異常なし
- ・仙台塩釜港(石巻港区):雲雀野中央1・2号岸壁のエプロン背後に亀裂や約30cmの段差、目地開きを確認 → 3/21県による応急復旧完了



▲相馬港被災状況

→ 国総研及び港空研の調査団による被災状況調査を実施(3/23)

- ・相馬港:3号埠頭岸壁のエプロン背後に亀裂や約1.2m段差、目地開き、液状化を確認 → 災害協定に基づき、(一社)海洋調査協会によるドローン調査を実施(3/17) → 国総研及び港空研の調査団による被災状況調査を実施(3/17~18) → 埋没との災害協定に基づき応急復旧を実施(3/19~21)

【その他】3/21 関東地整首都圏臨海防災センターよりブルーシート700枚、土のう袋360枚を相馬市に納入

4) 国営公園関係

《対象施設》点検対象施設:4施設

【点検結果と対応】

- ・3/17 6:45 福島県復興祈念公園点検終了、異常なし→3/17通常開園
- ・3/17 7:00 高田松原津波復興祈念公園点検終了、異常なし→3/17通常開園
- ・3/17 7:00 石巻南浜津波復興祈念公園点検終了
→伝承館の壁面ガラス破損(3/17 10:30応急復旧完了)、他異常なし
→3/18通常開園(津波伝承館は当面の間休館)
- ・3/17 12:00 国営みちのく杜の湖畔公園点検終了、異常なし→3/18通常開園

5) 営繕関係

《対象現場》点検対象現場:6現場→異常なし